

壁高欄は主に都市部・跨線部において、橋梁・高架橋（構造物）等での二次災害を防ぐ防護柵として広く使用されています。

コンクリート製壁高欄と比較して重量の低減などトータルコストの縮減ができる製品です。

KOWA 鋼製壁高欄の特長

1

軽量化

2

工期短縮

3

経済性

4

施工性

5

表面処理

6

その他

軽量化…

コンクリート製壁高欄と比較して、重量が大幅に軽量化され床版への荷重が低減できます。

コンクリート製壁高欄 … (SS種) 約940kg/m (SB種) 約780kg/m

鋼製壁高欄 … 約350kg/m

工期短縮…

鋼製壁高欄は工場生産品です。コンクリート製壁高欄のような型枠工事、現場養生が不要で工期短縮が可能となります。また、都市部における工事や工期に制限のある場合に適しています。

経済性…

鋼製壁高欄自体のコストは上がりますが、構造物全体の軽量化および工期短縮により、トータルコストの縮減が可能です。

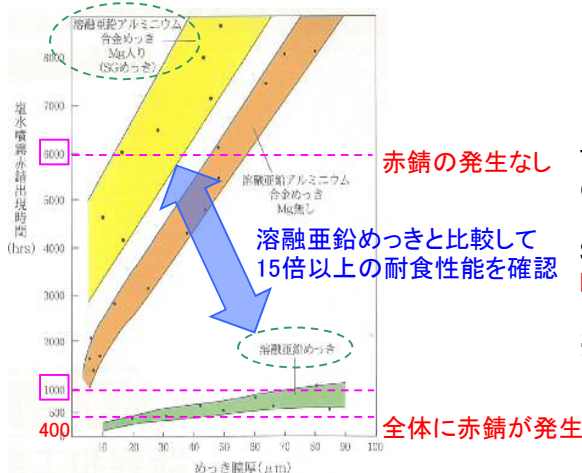
施工性…

各部位ボルトで組付けるため作業効率が向上します。

表面処理…

架橋地域の環境により、3種類の表面処理仕様をご選択いただけます。

- ・溶融亜鉛めっき仕様
- ・溶融亜鉛アルミニウム合金めっき (SGめっきSP) 仕様
- ・SGめっきSP+焼付粉体塗装仕様



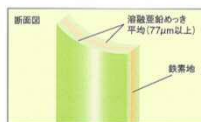
SGめっきSPは、塩害に強く、海に近い沿岸部、融雪剤を使用する場所に適しています。塩水噴霧試験 (JIS Z 2371) では通常の溶融亜鉛めっきの15倍の耐食性を有しています。

従来、溶融亜鉛めっき仕様の製品を採用している場所では、SGめっきSP仕様の製品にしておけば、大幅に耐用年数が伸び、LCCの低減に繋がります。

※SPめっきSP…NETIS登録番号QS-170020-A



選べる表面処理

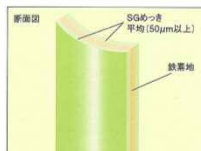


溶融亜鉛めっき

HDZ55 (550g/m²)

●特徴

溶融亜鉛めっき (JIS H8641 2種) は、安価で一般的に知られる防錆処理です。外観の見栄えより防錆機能を重視しためっきです。

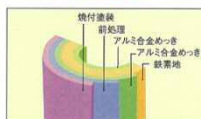


SG (溶融亜鉛アルミニウム合金)めっき

HDZ35同等 (350g/m²)

●特徴

SG (溶融亜鉛アルミニウム合金)めっきは、亜鉛をベースに5%程度のアルミニウムと1%のマグネシウムを含有させた合金めっきです。下記グラフ等から解る様に耐食性に優れ、塩害 (海岸・塩カル散布地域) に最適です。 ※SGめっきはRoHS指令 (EU)・グリーン調達基準 (グリーン調達共通化協議会) に適合した環境にやさしい表面処理です。



SG+標準焼付塗装

SGめっき350g/m²+焼付塗装60μm以上

●特徴

SG (溶融亜鉛アルミニウム合金)めっきを下地として、その上に焼付塗装 (平均膜厚60μm以上) を施す標準的な仕様です。下記で示す様に、SGめっきを下地に使用する事で塗装との密着性に優れています。

その他…

床版との接合は、アンカーボルト方式のため、新設はもちろん補修、補強物件にも対応でき、本体の取替え (交換) も可能です。

株式会社 興和工業所 土木建材事業部

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-10

TEL 0569-29-3041(代) FAX 0569-29-3054

URL: <http://www.at-kowa.co.jp>

E-mail: d-kenzai@at-kowa.com